
転生したらDIOで…テイルズ!?

MIA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転生したらDIOで…テイルズ!?

【Nコード】

N9227X

【作者名】

MIA

【あらすじ】

ごく普通のオタク寄りの主人公は、ある日交通事故で死んでしまった。ハズだが、気が付いたら白い部屋を落とし穴で通過して何故か転生してTODの世界にいた。

しかもその転生体がジョジョのDIOだった!?!
さらに家がジルクリストだと…どーすんの俺!?!

そんな感じのお話です。更新速度がかなり遅いと思いますが、暇な時にでも読んでくださいm () m

はじめに

この作品は作者の事故満足とキャラ崩壊によってできています。
なので全く期待しないで下さい m (_ _) m

超展開、キャラ崩壊、原作崩壊、ネタバレ、TOD2なんて無かった、文章崩壊、日本語おかしい……等々を容認できる人は、暇潰し程度に読んで下さると幸いです。

後、TODクリアしたことがある前提で書いています。なので、TOD知らない人には意味不明な場合があるかも…（一応、簡単な説明は纏めて入れるつもりです）

無理な人は回れ左してください（・∀・）

1. おらはしんじまっただー（前書き）

転生したらミクトランの話を書こうとしたらこうなった（それも書く予定）

思いつきり自己満足物語になりそう W W W

設定とか無茶苦茶になるとはいますが、どうか宜しくお願いします

m (m

1. おらはしんじまっただー

「皆さん、初めまして！俺、交通事故にあって死にました！！」

—完—

いやいや、終らないよ、終わらせないからね！

まず、俺は17歳の誕生日に交通事故で死んだんですよ。

なのに何故か生きてて、気が付くとそこは知らない天井だった……
なんてことはなく、驚きの白さの空間でした。

二次小説でよくある「神が間違えて殺しちゃったので転生させてあげるよ☆」ってやつかと思って少し期待してたけど……3日(?)
たっても誰も来ねえ。まあ、お腹が空かないから良かったが…死んでるからか？

改めて死んでることに凹んでいると……

「わしゃ神じゃ」

おせーよホセ、じゃなくて神

「まず、お前は前の世界で死んだんじゃ」

うん知ってる、犬に氣をとられてディアボロみたいに死にしましたよ。

「それで、普通に死んだならそのまま三途の川行きだったのじゃが……トラブルでちと不味いことになってのう……」

トラブルが起きたのは別にいいでしょう。なんでもっと早く来てくれないんだよ……

「それがの……ほらあれじゃ！すっかり忘れておったのじゃ☆」

「忘れておったのじゃ☆」じゃねーよ、心読むんじゃねーよ。
で、神はそれを説明しに来たのか？

「すまんすまん、冗談じゃ。ちゃんと覚えておるからな。そうだのう……何か聞きたいことはあるか？」

そうだな……トラブルって何？ここどこ？俺これからどうなるの？
生き返るの？転生でもすんの？転生したいよ！転生した時チートして
もらえるの？記憶引き継げるの？

「質問は一度に沢山言うものじゃないぞい。話し長くなりそうじゃ
から……ほれ、座りなさい」

そういうと、いきなり机と椅子とリアルゴー○ドとかオロナミン○
が出てきた。俺の好きな飲み物を知ってるとは、流石神様!!

俺思っただけどき、なんでリアル○ールドをペットボトルで出して
くれないんだろう？

色か？やっぱ色なのか？

色かなんて誰も気にしないからペットボトルで売ってくれ！それが
無理なら500ml缶でもいいから！

従来の缶じゃ中身少ないし、飲み終わった後に水洗いするのが面倒
なんだよ……

「あー…説明してもよいじゃろうか？」

あつ、すみマセン。お願いします。

聞いた話を纏めると…

神の先輩が「ゲーム買ってきたー、ジョジョおもしろー、ディアボ
ロやべー」ってことで、ディアボロの死因を再現したらしい。

俺はそんなことの為に死んだのかよ……

で、神の先輩の先輩に勝手に俺を殺したことで凄く怒られて、処刑
されて、その後片付けが後輩の神に回ってきたとこのと。

殺された俺が言うのも変だが、処刑とか神社会恐ろしいなあ。

でも、そうでもしなきゃ世界のバランスが（仕事しない神の暇潰し
によって）崩れるから仕方ないらしい。…恐ろしい神社会マジ恐ろ
しい仕事しろ。

本来まだ死ぬハズではなかった俺をそのまま死なせるとバランスが崩れる。かといって、そのまま生き返らせてもバランスが崩れる。なので異世界に転生させ、チートはそれなりに付けるらしい。やったね!!

記憶は一応引き継げるが、その記憶を転生した俺が引き継ぐには時間がかかるらしい。

神が言うには早くて1年、遅くて10年。もし引き継ぐ前に死んだらどうしよう…不安になってきた。

「まあ多分大丈夫じゃろうよ。それじゃあクジを引いてもらうかう?」

クジ?もしかして異世界や転生体やチート能力がクジで決まるのか!?

「Exac^{そのとおりでいびく}tly」

お前もジョジョ好きなのかよ!?!?じゃなくて、そんな適当でいいのかよ!?!?

「儂が勝手に決めるより良からう?さあ早く引くんじゃ」

確かにそうだが…

目の前に出された箱からクジを引く。

そこに何か書いてある。なにに…【運命と石と仮面と克服】…どういうこと?

「なるほど…。ちなみに【精霊と未来と絶望と痣】や【反逆と願いと国と騎士と起動戦士】などもあったのじゃが、どうやら良いものを引いたようじゃな。それじゃあ行ってくるがよい」

えっ説明は？

てか、もう行くの？心の準備がまだなんですけど。

いきなり地面に穴空いたんですけど。

落ちたんですけどおおお！？

どうなるの俺！？

落下死なんて嫌だよ！？

1. おらはしんじまっただー（後書き）

さて、この後が問題です。

何故なら…また勢いに任せて書いてしまったから、その後のことを全然考えていないのです＼（＾Ｏ＾）／

しかも多作品も書いてる途中…

年変わる前に更新出来たらいいなあ（・ω・、）

2. 出会い（前書き）

馬鹿な作者が無駄に賢そうな感じ（？）で書いてみたら、文章が変になった（＾Ｏ＾）／

それでは、短いですがヒューゴ視点でお送りします。

11／4 一部修正しました

2. 出会い

これはカルバレイスにある遺跡。そこ内部が三次元に入り組んでいる上に、足場が脆く、2匹の凶悪なモンスターが徘徊していることで有名だった。多くの遺跡調査隊がそこで怪我人を出し、調査が打ち切られることが多かった。そんな遺跡にある調査隊が来ていた。

「ヒューゴさーん！？大丈夫ですかー！！」

「うっ…大丈夫だ、怪我はない」

調査隊のヒューゴと呼ばれる男も、その遺跡内部調査中に足場が崩れ、空洞に落ちた。

ヒューゴは辺りを見渡す。

そこには通路があり、それはこの遺跡の雰囲気と何かが違っていた。

「どうかしましたか？」

「いや、少し気になってな。上に上がるのは少し探索してからでもよいかな？」

「構いませんが、くれぐれもお気をつけて下さい！」

「やはり、ここを境に造りが違う」

先程までは遺跡らしさあった。しかし今ヒューゴが通っている通路は何か未来的なものを感じさせた。

しばらく進んで行くと、小さな小部屋にでた。ヒューゴがその部屋に入った瞬間通路がふさがり、小部屋の床全体に書かれた魔方陣のようなものが作動し、ヒューゴは小部屋から消えた。

「これは天地戦争以前もの…か？」

気が付くと、ヒューゴは半透明の結晶でできている足場、それ以外はどこまでも続く闇しか見えない空間へ転送されてた。今の技術では人を別の場所に転送することなどできない。知る者は少ないが、過去に天地戦争時代は今と比べ物にならない高い技術力があつたとされている。その技術力なら、人を転送することは可能だろう。

他にも、足場にレバーやリフト等の人工的仕掛けがあり、それは足場と同じ素材でできていた。つまり、この空間は造られたものなのだ。

しかし、いくらなんでもこの空間が、その技術力によって造られた物とは信じられなかった。それほどまでに異質であり、非現実であった。

「だが、ここは紛れもない現実か…。調査するならば、一度戻って

装備を整えたいが……」

足下にあった魔方阵はうんとも言わない。
もっとも、作動したとしても先程の通路が無くなった小部屋に閉じ込められるだけだが。

「……すまないクリス、私は帰って来れぬかも知れん」

だが、まだ諦めたわけではない。ヒューゴは出口を求めて奥に進んで行く。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9227x/>

転生したらDIOで…テイルズ!?

2011年11月4日03時06分発行